

ユビキタスフォーラム' 13.06

【アンケート集約結果】

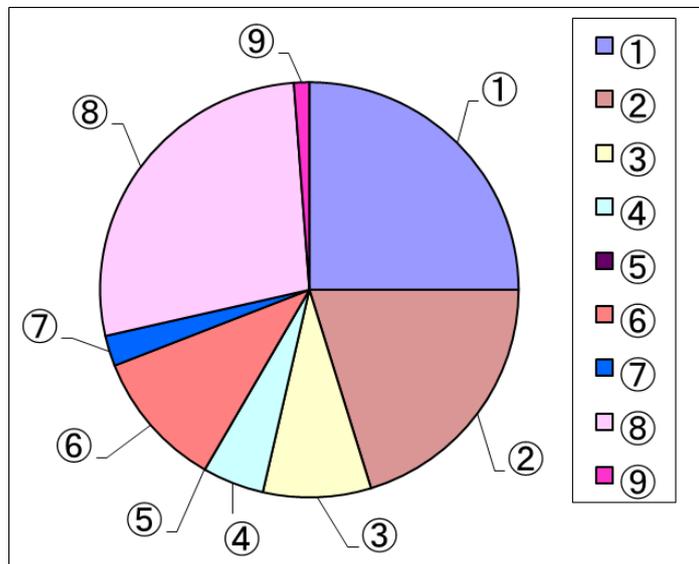
- 日時 平成25年6月21日(金) 13:50~17:00
- 会場 広島国際会議場 地下2階 大会議室 ダリア2
- 主催 総務省中国総合通信局、広島市、中国経済連合会、広島商工会議所、
中国電子タグ(RFID)利活用研究会、中国情報通信懇談会
- 協賛 情報通信月間推進協議会
- 参加者数/アンケート回収数 76名/113名 (回収率67.3%)

1 開催を何でお知りになりましたか。(複数回答可)

どこから

- ①中国情報通信懇談会
- ②中国総合通信局
- ③広島市
- ④中国経済連合会
- ⑤広島商工会議所
- ⑥中国電子タグ(RFID)利活用研究会
- ⑦新聞等
- ⑧上司・同僚・知人等
- ⑨その他

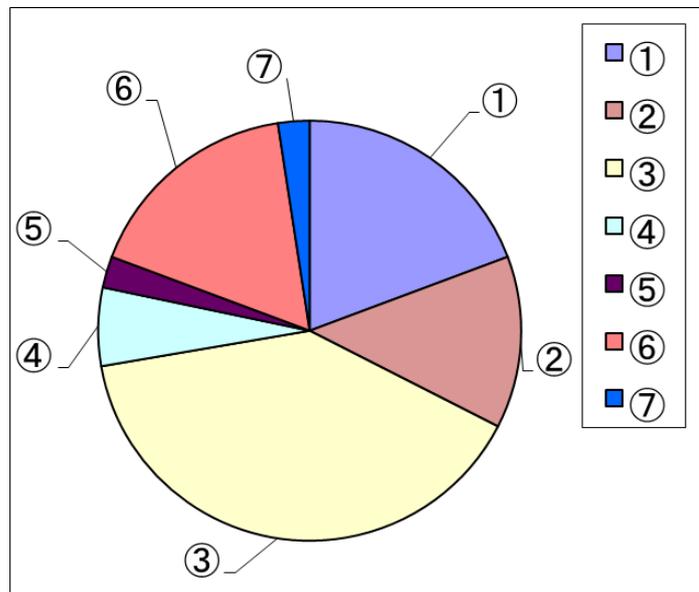
番号	回答数
①	21
②	17
③	7
④	4
⑤	0
⑥	9
⑦	2
⑧	23
⑨	1
計	84



どのような方法で

- ①HP
- ②メールマガジン
- ③メール
- ④記事等
- ⑤FAX
- ⑥直接聞いて
- ⑦その他

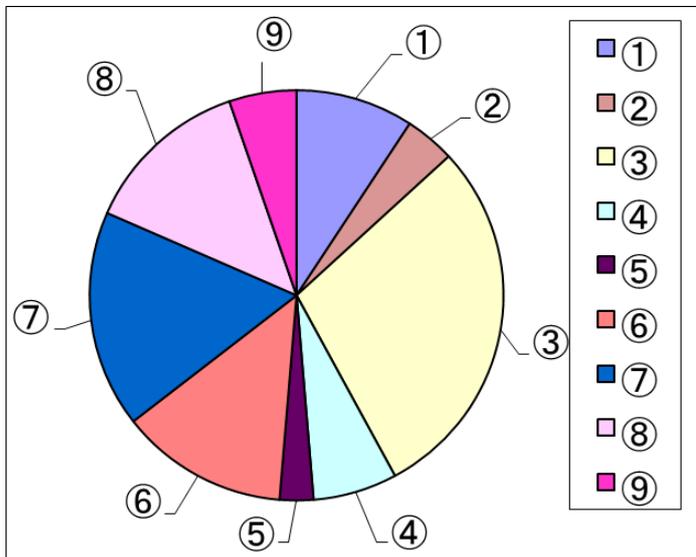
番号	回答数
①	16
②	11
③	33
④	5
⑤	2
⑥	14
⑦	2
計	83



2 貴方が所属する企業・団体の主な業務分野は次のどれですか。一つ選んで番号に○印をつけてください。

- ①製造・販売 ②エネルギー ③情報通信 ④放送 ⑤サービス ⑥公務
 ⑦学生 ⑧その他の事業 ⑨個人

番号	回答数
①	7
②	3
③	22
④	5
⑤	2
⑥	10
⑦	13
⑧	10
⑨	4
計	76



3 本フォーラムの各話題についてご意見・ご感想をお願いします。

講演1 『放送サービスの高度化に関する検討会について』

講師：総務省 情報流通行政局 衛星・地域放送課 地域放送推進室 制度係長 下澤 広幸 氏

大変参考になった	7	興味がわく話だった	17
参考になった	49	興味がわかない話だった	11
あまり参考にならなかった	17	おもしろかった	8
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	12

- ただ4K・8Kは「ための開発」みたいで、本当に視聴者のニーズに立って発想したかどうかギモン。何かテレビメーカーの次世代テレビ開発のお先棒かつぎの印象がした。
- 議論の内容をもう少し話して欲しかった。
- 資料がとんでわかりにくかった。
- 検討会の結果を他人ごとのように報告されていて、ねむかった。総務省として、放送サービスを何年後にどのようにしたいのかよく分からない。
- 報告書を読んだだけで、新しい情報は得られなかった。
- 資料と説明が同期されてなくわかりにくかった。
- 地上波で4K・8Kの放送を見れるようになればいいと感じました。
- 判り辛い話し方であった。
- 放送サービスに関する国の動き（情報）を知ることができた。
- 4K・8Kのスーパーハイビジョンの規格が、地上波でも登場してほしいと感じた。
- 手元の資料のどこを言っているのか、前後が激しくて全くわからず、途中から追い付くのにつかれた。ホッチキス止めを分けて頂いた方が分かり易かったかもしれません。
- テレビ放送の現状と、その方向性がよくわかりました。

13. 資料の参照ページがあちこちに飛んで非常に分かりづらく、説明も資料を読むだけという感じを受けたので、改善した方が良かったと思った。
14. 説明が早過ぎてついていけなかったです。
15. 講演の際の投影資料と配付資料がもう少しリンクしている方が良かったと思う。
16. 最後の2枚のスライドを配布資料に入れて欲しかった。
17. 4Kの今後に期待しています。

講演2 『ドコモのITSテレマティクスへの取り組みと今後の展開』

講師：(株)NTTドコモ ユビキタスサービス部 ITSサービス担当部長 土橋 寿昇 氏

大変参考になった	21	興味がわく話だった	43
参考になった	39	興味がわかない話だった	2
あまり参考にならなかった	5	おもしろかった	22
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	1

1. 実際にスマホアプリを使ってみたいと思った。
2. ドコモと交通の融合に期待しています。
3. 利用開発の方向性がわかり良かった。
4. 面白い、興味深い話を聞くことができ、とても有意義だった。
5. 目の前におてつだいロボットがいるような時代になった気がしました。
6. スマートフォンを利用することで、個人を識別するというメリットに興味を持ちました。
7. 通信業界に身を置きながらも、様々なサービスを提供し、全てのお客様ニーズに応えたサービスを創り出しているドコモの姿に感動した。
8. パリのカーシェアリングの事例は「なるほど」と思ったが、米国の運転状況が保険会社へ通信されるシステムは、運転能力的に老人、女性にとってはデメリット。保険（事故対応）本来の目的から外れていると思う。
9. もっと多く機能が載せられるように思い、夢が広がります。
10. 判り易い話し方であった。
11. 携帯電話により、利用者の特徴をくみとることができ、ナビゲーションが可能ならばとても便利だと感じました。
12. ITSのひとつの方向として有意義だと思った。
13. ナビゲーションシステム+スマートフォンからの交通ビックデータの利活用。これからどうなっていくのか大変興味深かった。
14. docomoさんが、カーナビの話をするのが分からない。それでいて、最後には「私たちは通信事業者です。」と言う。通信の話がよい。
15. メーカーとして、何ができるのか。仕事まわりの話をもっとききたかった。
16. バスや電車の動きがスマホで表示されると、待っているときのイライラ感がなくなるのでは。JRの運行状況もあるといい。

講演3 『スマートユーティリティネットワークの研究開発、標準化及び普及化の動向』

講師：独立行政法人情報通信研究機構 スマートワイヤレス研究室 主任研究員 児島 史秀 氏

大変参考になった	21	興味がわく話だった	28
参考になった	35	興味がわかない話だった	3
あまり参考にならなかった	6	おもしろかった	16
全く参考にならなかった	0	つまらなかった	2

1. インターネットやモバイル網に続きまた一つネットワークが身近になる。その一方のセキュリティの問題が気になるところである。
2. ほとんど理解できませんでしたが、引き続き研究を頑張ってください。
3. SUN開発の経緯がよくわかった。まさに新しい分野での電波利用、素晴らしい。NICTの役割も良くわかった。わかりやすいプレゼンでした。
4. 非常にわかりやすかったです。
5. 新しく知る部分、考えさせられる部分が多くあり、良かった。
6. 省電力MACが特に興味深かったです。
7. 原発のある福島県に、放射線量モニタリングシステムが活用されているのを知った。このシステムにより、対策本部へデータの送信が可能となったことが分かりました。
8. 大変参考になりました。
9. 日本の技術が優れているのに、世界と比較して一歩遅れている印象をもっていたものの、一つの可能性として、技術の標準化が進んでないからだという事を学んだ。
10. 社会的要件・国際規格の説明が難解であった。社会的要件→普及の為には（海外も含めて）必要であるとの説明であったが。認証と普及はどこまで進んでるか（どこまで具体化しているのか）これまでの経緯を含めて（10年持続する電池はあるのか）、何時システムが働くのか知りたい。10年間で検針の人件費と比べてペイするのか。
11. 判り易い話し方であった。
12. 大変わかり易い説明だった。
13. SUNの開発動向・応用についてよりわかった。
14. 規格の話のボリュームをもう少し少なくすればもっとよかった。
15. 新しい技術の開発の流れが分かった。

4 これからの電波利用について、関心のあることや期待することをお書きください。

1. 周波数帯域の有効利用、パーソナル通信に対するコンテンツ。
2. テラヘルツ波の応用、MIMO・コグニティブ無線の次の新しい技術、位置推定。
3. 通信の概念のサービスを越えたサービスに期待。今後さらに問題になる、医療分野への発展に関心があります。
4. WiFiについての活用と電波干渉。
5. 次世代移動体通信の発展に関心がある。
6. 高速化が進む無線LANの活用、ホワイトスペースの通信利用の動向。
7. 今後の周波数利用について。周波数編成等の計画や実行の状況について。
8. ビックデータについて。
9. やっぱりカーナビだろう（VICS）。
10. 映像圧縮技術。
11. スマートフォンの活用と、省電力、バッテリー長時間使用。

5 今後、取り上げて欲しいテーマや講演者等について、ご自由にお書きください。

1. テラヘルツ波生成・分光技術、車載レーダー技術、地図情報処理技術、グリーンICT技術。
2. モバイル3社（D社、K社、S社）の比較。
3. NICTで開発された無線LANの仮想ネットワーク化について。